



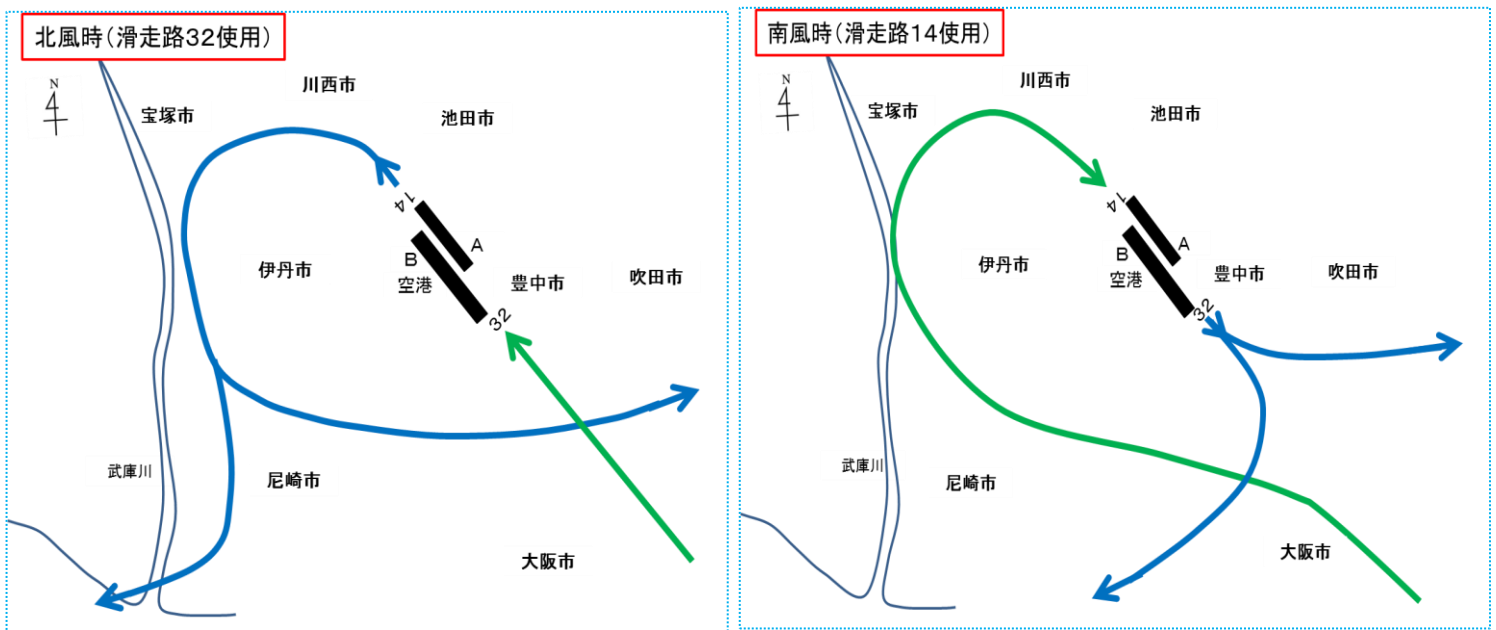
## 大阪国際空港の飛行コースについて

(気象条件による場合の飛行コース)

大阪国際空港では、南寄りの風が強く吹く春から夏にかけてのこの時期は、通常とは逆の豊中市側に向かって離陸することが多くありますのでお知らせします。

大阪国際空港では、通常北寄りの風が吹いていることから、滑走路 32 を使用して伊丹市および川西市側へ離陸していますが、南寄りの風が強く吹く場合は、滑走路 14 を使用して豊中市側に向かって離陸することがあります。特に春から夏にかけてのこの時期が多い傾向にあります。

なお、豊中市側へ離陸する運用となった場合は、着陸は宝塚市、伊丹市、川西市側からとなりますので、通常は飛行しない上空を航空機が通ることになりますが、航空機運航の安全上やむを得ない措置でありますので、ご理解とご協力をお願いします。



※上図は飛行コースの概念図であり、飛行範囲を示すものではありません